挑戦 刈谷観光検定ミニクイズ

▶まずは問１～問 11 にチャレンジ！

問１〈まつり〉			ど						
問２〈まつり〉				こ		く			ん
問３〈みどころ〉			う						す
問４〈歴史〉									
問５〈歴史〉			の				り		
問６〈歴史〉	ま				き				う
問７〈歴史〉	か						う		
問８〈歴史〉				ら					
問９〈歴史〉						た			
問 10〈グルメ〉			か						
問 11〈スポーツ〉	で				あ			す	

▶次に、上の黄色い ■ に入る文字を並び替えて言葉を完成させよう

ヒント：刈谷の夏祭りのひとつです。

正解を記入し、案内所にお持ちいただいた方の中から先着200名様に

I ♥ KRY ボールペンプレゼント!

※お一人様1本のお渡しとなります。

ヒントは刈谷市観光協会のホームページを見るカリ～

問１ みどころ

重さ60kgにもなる〇〇〇を一人で抱えて勇壮に舞う刈谷の夏を彩る〇〇〇祭。その歴史は江戸時代にさかのぼります。

2020年の開催は9月19日(土)、20(日)となります。

問２ みどころ

中部地区最大級のアニメ、コスプレの祭典、刈谷〇〇〇〇〇〇〇〇〇では、アニメに関する展示のほか、コスプレーヤーたちが大勢参加し秋の刈谷を代表するイベントになっています。

問３ みどころ

刈谷〇〇〇〇〇〇〇〇〇は伊勢湾岸自動車道のパーキングエリアと岩が池公園からなる複合施設です。シンボルである大観覧車、天然温泉かきつばた、産直市場オアシスファームの他、おみやげ店や飲食店が並ぶ一日遊んでもあきないスポットです。

問４ みどころ

刈谷市南部、高須町にある〇〇〇フローラルガーデンは〇〇〇送信所跡を整備して生まれた公園で、四季色とりどりの花が訪れる人の目を楽しませています。敷地内には〇〇〇送信所資料館もあります。

問５ 歴史

〇〇〇〇〇〇〇は戦国時代から江戸時代初期にかけての武将で初代刈谷藩主を務め、後の刈谷の発展の礎を作りました。徳川家康は従兄弟にあたります。

問６ 歴史

文化３年(1863年)、大和で討幕の兵を挙げた天誅組の総裁、〇〇〇〇〇〇〇〇は三河国刈谷藩士の子に生まれました。司町にある生家跡には碑が建てられています。

問７ 歴史

フェライトの父と呼ばれる〇〇〇〇〇〇博士は1872年に現在の刈谷市野田町に生まれ、日本の科学技術の発展に大きく貢献しました。市内野田町の南部生涯学習センターには〇〇〇〇〇〇資料室があります。

問８ 歴史

源頼朝が〇〇〇幕府を開いて以来、京都と〇〇〇の往来が盛んになりました。東境町の祖母神社境内には〇〇〇街道伝承地として、街道の跡と伝えられる道と伝承地碑が残されています。

問９ 歴史

徳川家康の生母で知られる〇〇〇〇〇は一時期を刈谷で過ごしました。その住まいとして伝えられる椎の木屋敷跡が市内銀座６丁目にあります。

問 10 グルメ

江戸時代、東海道を行き来した旅人たちのお腹を満たした言われる〇〇〇〇うどん。きしめんのルーツとも言われています。

問 11 スポーツ

刈谷ホームタウンパートナーチームのひとつ、女子バスケットボールの〇〇〇〇〇〇〇〇は刈谷市の市の花、カキツバタの英語名にちなんでいます。

刈谷難読地名クイズのこたえ

1.かけがい(高須町)　2.こん(高須町)　3.ごん(高須町)　4.けん(高須町)　5.ただやま(高須町)
6.きりはらい(一里山町)　7.かしならし(井ヶ谷町)　8.そうすけあらた(泉田町)　9.じえだ(西境町)　10.やまはずれ(西境町)
11.じょうの(東境町)　12.おおぐて(高須町)　13.げじがつぼ(小垣江町)　14.きたもろはざま(小垣江町)
15.どろざわ(小垣江町)　16.みあらため(小垣江町)　17.うしろだ(井ヶ谷町)　18.えげじろ(泉田町)
19.もりそ(泉田町)　20.そぶた(西境町)　21.はいだし(半城土町)